

愛媛県西予警察署協議会会議録

(令和4年度第1回)

日時	令和4年6月16日（木） 午後1時30分から午後3時15分の間	
出席者	1 警察署協議会 会長以下8人 2 公安委員会 渡部公安委員 3 警察署 署長以下8人	
議事概要	1 開会の辞	
	2 会長挨拶（要旨） コロナ禍においても署員一丸となつてのきめ細やかな各種警察活動への労い、また、協議会委員に対しては、それぞれの立場において、西予市のために日頃、活動をされていることに対する感謝を申し上げる。 諮問事項及び警察行政全般に対する忌憚のない意見交換を依頼する。	
	3 署長挨拶（要旨） 着任の挨拶後、「地域の方々とのつながりを大切に、明るく、活力のある警察署の運営に取り組んでいく」と述べた。	
	4 業務推進結果報告、業務推進計画の説明 令和4年1月から4月の業務推進結果、令和4年5月から8月の業務推進計画について、各課長が説明した。 各委員からの意見に対し、署長が回答、説明した。	
	5 諮問及び答申 諮問事項について、各委員からの答申を事前に集約し、署長が答申に対して回答した。	
	諮問	答申
	(1) 職員が全力を尽くすことのできる職場作り	○ 高齢者への広報啓発の強化をお願いする。 ○ 健康を第一に、明るく元気に前向きな職場作りを推進されたい。 ○ 地域の特性や多様な住民ニーズにも的確に対応するためにも組織と地域で人を育てる活動を是非とも、推進されたい。

議 事 概 要	(2) 歩行者の交通安全対策の推進について	○ 高齢者に対する交通安全教育を強力に推進された - い。 ○ 電動カートの交通安全指導を徹底していただきたい。 ○ 「大人も手を上げよう」運動の広報、啓発活動をして広めていただきたい。 ○ 卯之町駅周辺などの道路環境が変化した場所の交通規制の見直しを図っていただきたい。 ○ 事故の発生要因の分析に基づく取り組みをお願いしたい。
	6 主な質疑・応答 (委員) 地域のサロン、老人クラブ等の開催自体が少ない状況が続いていたが、徐々に開催されつつあるようで、高齢者に対する広報啓発活動を強化していただきたい。 (署長) 西予署では、高齢者世帯への巡回連絡や集会、高齢者サロンといった機会に特殊詐欺や交通事故の防止に関する啓発活動を行ってきたところであります。 今後もこれらの啓発活動を継続するとともに、職員にスポットを当てた広報活動等においても啓発活動と併せて推進したいと考えております。 また、集会やサロンに出席していただいた高齢者の方々に、出席できなかった友人、知人にも伝えていただくようお願いをして、言うなれば、広報活動の輪を広げる取り組みを行い、より多くの方々に周知していきたいと考えています。 なお、委員の皆様には、各地域で会合等の開催予定がございましたら、是非、ご紹介いただければと思います。 (委員) 署員に対する健康管理対策はどのようにしているか。 (署長) 健康診断やワークライフバランスの推進に努めているほか、今後は、月に1回開催している研修会において、フィットネスデーやメンタルヘルス教養などを取り入れ、職員の心身の健康に配慮した警察活動を行っていきたいと考えています。	

	(委員) 電動カートを利用している高齢者に対する指導が必要であると考えているが、取り組み等はしているか。 (署長) 電動カートが関与する交通事故は、過去、県下で死亡事故を含めた発生が確認されています。 西予署管内では、死亡事故の発生はないが、電動カートが関係する交通事故が発生しており、電動カートが関係する交通事故は、重大事故に繋がるおそれが高いことから、指導の強化を考えております。 具体的には、電動カートの販売業者や関係者と連携をし、実技を含めた「事故防止教室」を計画しているところであります。 (委員) 卯之町駅前の道路がロータリーとなったが、転回することなく、ショートカットをする車両を見かける。 危険であるため、わかりやすい規制の標識等を設置できないか。 (署長) ご指摘のショートカットをする通行方法は、道路交通法上は、指定外の右折となり、交通違反となりますので、指導取締等、適切に対処してまいります。 なお、同違反を誘発しないよう道路標示等により、規制がわかりやすくなるように道路管理者等と協議しているところです。 (委員) 宇和町大江のゼブラゾーンに置かれていたコーンが動かされており、同ゼブラゾーンに車が止まっていた。 更なる対策ができないものか。 (署長) 同所は、地域の方々からの「規制線に従わず内側（ゼブラゾーン）をショートカットする車両が危険である」という意見を受けて、愛媛県に依頼し、カラーボックスを設置した経緯があります。 今後、コーンの設置など、道路管理者との情報共有を図り、対応して参りたいと考えております。 (委員) 明浜町俵津で、海に転落する交通事故が発生したが、同所で再度交通事故が発生しないよう対策ができないか。 (署長) ご指摘の交通事故については、車両が、誤って海に転落したものとされます。
--	--

この事故の発生を受けて、道路管理者である西予市と対策を検討していましたが、ガードレールが設置される見込みとなりました。

(委員) 事故の発生要因を分析し、取り締まりを強化してほしい。

(署長) 御意見のとおり、事故分析による実効性のある指導取締りは、交通事故抑止の重要な要であります。

現在、愛媛県警では、過去の事故分析（交通事故抑止システム）に基づき、重大事故の発生が懸念される時間・路線での指導取締りを1ヶ月ごとに計画・実施しております。

当署におきましても、同事故分析に基づいた指導取締りを1ヶ月ごとに計画・実施しておりますが、今後ともご意見のとおり、取締り結果を集約し、「取締り結果に生じた実態変化」「地域の皆さんのご意見等」を検証し、更に改善の上、取締方針に反映させる活動（PDCAサイクルを回す）に努めてまいりたいと思います。

(委員) これからの季節、暑くなってくると居眠り運転が増えてくるのではないかと危惧している。

昼の時間帯の取締りの強化をお願いしたい。

(署長) 御意見のとおり、これからの季節、レジャーなどが特にそうであるが、無理な旅行計画を立てるとか、暑さに疲れて夕方の事故が多発するなどの傾向があります。

これらに対処するためには、このような時間帯に警察官による街頭活動を積極的に行い、「見せる活動」を強化することで、ドライバーの注意力が散漫にならないようにしたいと考えております。

7 公安委員総括

委員の皆さんが内容の濃い意見をしておられる姿を拝見して、日頃から西予警察署に対して大変なご協力をいただいているものと感じました。

西予警察署に来て、窓口の女性が、大きな明るい声で挨拶をしてくれてとても気持ちが良いと感じました。

心からの気持ちのこもった声に感じ、とても署の雰囲気が良いのだらうと思いました。

西予警察署は、家族参観などの取り組みを計画しているということですが、職員本人がやりがいを感じられるというのは、大事なことだと思います。

高齢者の交通安全、事故防止については、講習などに来られない高齢者もおられると思いますので、委員の皆様の草の根運動で、高齢者に交通安全の意識を広めていただけると警察としても大変ありがたいと思います。

今後、公安委員会の活動にも生かしてまいりたいと思います。

8 協議会開催状況



以 上